

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公開番号】特開2010-119548(P2010-119548A)

【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2008-295126(P2008-295126)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月18日(2011.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種の絵柄を循環表示させる複数の循環表示手段と、

前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、

役の抽選を行う抽選手段と、

前記各循環表示手段の循環表示を個別に停止させるべく操作される複数の停止操作手段と、

前記開始操作手段の操作に基づいて前記各循環表示手段の循環表示を開始させるとともに、前記停止操作手段の操作に基づいて対応する循環表示手段の循環表示を停止させるように、前記各循環表示手段を表示制御する表示制御手段と、

前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に所定の組合せを形成して停止した場合、入賞成立として遊技者に特典を付与する特典付与手段とを備えた遊技機において、

所定の設定操作がなされたことに基づいて、遊技媒体の受入に対する払出の割合に関わる設定情報を設定する設定手段と、

前記設定情報を示唆可能な示唆手段と、

前記設定情報に基づいて、前記抽選手段が前記役の抽選を行う場合に用いる抽選情報を選択する選択手段と、

前記停止操作手段が操作された場合に対応する循環表示手段の循環表示を停止させることが可能となる停止可能期間を設定するとともに、前記停止可能期間として、第 1 停止可能期間と、前記第 1 停止可能期間より長い第 2 停止可能期間と、を少なくとも設定可能な停止可能期間設定手段と、

前記停止可能期間が終了した場合、前記停止操作手段の操作有無に関わらず循環表示している循環表示手段を強制停止させる強制停止手段と

を備え、

前記強制停止手段を、前記役の抽選結果が当選であっても当選絵柄が前記有効位置に所定の組合せを形成しないように前記循環表示手段を強制停止させる構成とし、前記示唆手段を、前記停止可能期間設定手段が前記停止可能期間として前記第 2 停止可能期間を設定し、前記停止可能期間が開始されてから前記第 1 停止可能期間を経過した後に前記設定情

報を示唆する構成としたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記停止可能期間設定手段が前記第 2 停止可能期間を設定した場合に特定補助演出を実行可能な補助演出実行手段を備え、前記補助演出実行手段を、前記停止可能期間設定手段が前記第 1 停止可能期間を設定した場合にも前記特定補助演出を実行可能な構成としたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記停止可能期間設定手段の設定結果を報知する報知手段を不具備としたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記各循環表示手段の少なくとも 1 つには、前記第 1 特定役と対応する第 1 特定絵柄を前記有効位置に到達させることが可能なタイミングで対応する停止操作手段が操作された場合に前記第 2 特定役と対応する第 2 特定絵柄を前記有効位置に到達させることができず、前記第 2 特定絵柄を前記有効位置に到達させることが可能なタイミングで対応する停止操作手段が操作された場合に前記第 1 特定絵柄を前記有効位置に到達させることができないよう、前記第 1 特定絵柄と前記第 2 特定絵柄を離間して配置し、前記停止可能期間設定手段を、前記役の抽選結果が前記第 1 特定役当選又は前記第 2 特定役当選である場合に、前記第 2 停止可能期間を設定可能な構成としたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。